

知的障がい者フットサル日本代表候補合宿 トレーナー報告

2025.1/11 ~1/13

作成者：島田 靖丈 （トレーナー）

※今回の合宿での外傷・障害は別紙参照

今回の合宿では、10年近くトレーナーとして知的障がい者フットサルの代表候補合宿に関わらせて頂いているが、今までで一番多くの離脱者が出てしまった。持ち込みの怪我也多かったが、年末年始の後だったこともあってか、あまりボールを蹴る練習を行っていなかったようで、治療を受けて日常生活上は痛くないので治ったと思い、今合宿に参加したが痛みが強く出た選手が数名いた。また、母趾球のマメができてしまう選手も3名いて、その3選手共に室内でフットサルをする環境がここ最近なかったとのことで、普段サッカーはしている、サーフェスの違いや、繰り返し動作が多いフットサルで母趾球への負担がかかりできてしまったと推測する。

このような環境の問題や、社会人チームに所属して継続的にフットサルに触れている選手がFPの中に増えていかない現状もチーム全体のレベルアップを図るためには必要不可欠であり長きにわたる課題である。

また、離脱者に対する私自身の対応（説明や声掛け、治療、テーピングの技術等）が悪かった事も少なからずあり、対応が良ければ離脱せずにできたと思われる選手もいたので、もっと努力していかないといけないと強く反省するとともに、私自身もっと精進していきます。

以上、合宿での報告とする。